

平成21年3月期 第3四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成21年1月30日

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社
 コード番号 4901 URL <http://www.fujifilmholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古森 重隆
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 吉沢 勝
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東 大 名

TEL 03-6271-1111

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,904,161	△10.9	82,538	△53.6	56,345	△69.6	29,454	△71.6
20年3月期第3四半期	2,137,413	3.3	177,993	46.5	185,471	65.2	103,869	114.5

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第3四半期	58.64		56.04	
20年3月期第3四半期	203.80		191.30	

(2) 連結財政状態

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第3四半期	2,943,464		1,798,635		61.1	3,681.12		
20年3月期	3,266,384		1,922,353		58.9	3,811.19		

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
21年3月期	—	17.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,430,000	△14.6	30,000	△85.5	1,000	△99.5	10,000	△90.4	20.47

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 514,625,728株 20年3月期 514,625,728株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 26,015,162株 20年3月期 10,228,426株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 502,245,847株 20年3月期第3四半期 509,672,947株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間の連結業績の概況

(単位:億円)

	平成20年度3月期 第3四半期(累計)		平成21年度3月期 第3四半期(累計)		増減額	増減率
国内売上高	43.2%	9,228	44.9%	8,544	△684	△7.4%
海外売上高	56.8%	12,146	55.1%	10,498	△1,648	△13.6%
売上高	100.0%	21,374	100.0%	19,042	△2,332	△10.9%
営業利益	8.3%	1,780	4.3%	825	△955	△53.6%
為替差損益		△10		△242	△232	-
その他		85		△20	△105	-
営業外収益及び費用	0.4%	75	△1.3%	△262	△337	-
税金等調整前四半期純利益*	8.7%	1,855	3.0%	563	△1,292	△69.6%
四半期純利益	4.9%	1,039	1.5%	295	△744	△71.6%
為替(円/米\$)		117		103	△14円	
為替(円/Euro)		163		151	△12円	

*表紙の「税引前四半期純利益」を、「税金等調整前四半期純利益」に読み替えております。

昨年の秋以降、米国大手証券会社の破綻をきっかけに金融危機が深刻度を増し、世界各国の金融市場や実体経済に大きな打撃を与えております。また、先行き不透明感に対する心理的な収縮も影響し、消費、投資、雇用、貿易などあらゆる分野の経済活動が、これまでにないスピードと激しさで悪化しており、欧米経済をはじめ日本も本格的な景気後退の局面に入りました。

当社においても、需要の減少や急激な円高など、経営環境はより厳しさを増しており、平成21年3月期第3四半期累計期間(平成20年4月1日～12月31日)の連結売上高は1兆9,042億円(前年同期比10.9%減)となりました。減収の主な要因は、為替の急激な円高、イメージングソリューション部門の売上が引き続き減少したこと、また第2四半期まで順調であったフラットパネルディスプレイ材料をはじめとしたインフォメーションソリューション部門やドキュメントソリューション部門の売上高が、9月以降の世界的な景気後退による需要減を受けて大きく減少したことです。

国内売上高は8,544億円(前年同期比7.4%減)、海外売上高は1兆498億円(前年同期比13.6%減)となりました。

また、第3四半期は売上の減少や為替円高影響を大きく受け、平成21年3月期第3四半期累計期間の営業利益は825億円(前年同期比53.6%減)、税金等調整前四半期純利益は563億円(前年同期比69.6%減)、四半期純利益は295億円(前年同期比71.6%減)と、大幅な減益となりました。

第3四半期累計期間の平均円為替レートは、対米ドルで103円、対ユーロで151円となりました。

事業セグメント別の売上高、営業利益および事業展開については以下のとおりです。

【事業セグメント別売上高・営業利益】

(単位：億円)

		平成 20 年度 3 月期 第 3 四半期(累計)	平成 21 年度 3 月期 第 3 四半期(累計)	増減額	増減率
イメージングソリューション	売上高	4,437	3,364	△1,073	△24.2%
	営業利益	160	△79	△239	-
インフォメーションソリューション	売上高	8,170	7,379	△791	△9.7%
	営業利益	1,045	344	△701	△67.1%
ドキュメントソリューション	売上高	8,767	8,299	△468	△5.3%
	営業利益	607	589	△18	△2.9%
全社費用及び セグメント間取引消去	営業利益	△32	△29	+3	-
連結合計	売上高	21,374	19,042	△2,332	△10.9%
	営業利益	1,780	825	△955	△53.6%

【イメージングソリューション部門】

イメージングソリューション部門の連結売上高は、カラーフィルムやカラーペーパーの需要の縮小、デジタルカメラの競争激化、および為替円高などにより、3,364 億円(前年同期比 24.2%減)となりました。

当部門は、銀など主要原材料価格の高騰、為替円高、デジタルカメラの価格下落など、厳しい事業環境の影響を受け、79 億円の営業損失となりました。

カラーペーパーは、主要国での拡販を進めたものの、価格競争の激化や、為替円高などにより、前年同期比で売上高は減少しました。フォトブックをはじめとした付加価値プリントの販売促進施策を引き続き強化していきます。

電子映像事業分野は、急激な為替円高に加え、伸長していたデジタルカメラの総需が日本や米国で減少に転じるなど市場環境の厳しさが増しており、競争激化による価格下落などにより、売上高が減少しました。部材コストの更なる低減やサプライチェーンマネジメントの徹底を推進するとともに、平成 20 年 9 月に発表した新開発の「Super CCD ハニカム EXR」などの独自技術を活かした商品の市場導入による差別化・拡販を推進していきます。

【インフォメーションソリューション部門】

インフォメーションソリューション部門の連結売上高は、為替円高、および第 2 四半期まで順調であったフラットパネルディスプレイ材料が液晶関連市場の急速な悪化に伴い、販売が減少したことなどにより、7,379 億円(前年同期比 9.7%減)となりました。

当部門の営業利益は、344 億円(前年同期比 67.1%減)となりました。為替が円高に推移したこと、銀など主要原材料価格の高騰、世界的な景気後退による販売数量の減少などの影響を受けました。

メディカルシステム・ライフサイエンス事業は、国内においては診療報酬改定の影響により、フィルム需要が減少、また、世界的な景気後退影響を受け、堅調であった FCR (Fuji Computed Radiography) の販売も減少するなど厳しい事業環境にあります。医療機関の IT 化が着実に

進展する中、医用画像情報ネットワークシステム「SYNAPSE」など、ネットワークシステム関連の売上が順調に増加しております。ネットワーク関連事業は、平成20年7月に中国医療ITシステムでトップシェアの北京天健源達科技有限公司を、また平成20年11月には米国の放射線情報システムメーカーである Empiric Systems, LLC 社を連結子会社化するなど、事業の拡大を図っております。内視鏡製品は、競争激化による価格下落などの影響を受け売上高が減少しましたが、平成20年10月に、子会社のフジノン株式会社の内視鏡事業を富士フイルム株式会社に統合し、開発・マーケティング機能の一元化を行うなど、事業拡大に向けた取組みを強化しております。アスタリフトシリーズなどの化粧品を中心としたヘルスケア製品は、販売窓口の拡充と TVCM の効果などにより販売が大幅に増加しました。また、富山化学工業株式会社は、有力新薬候補の早期発売を目指し、富士フイルム株式会社と連携して開発を進めております。

グラフィックシステム事業は、出版物の減少、新聞紙面削減、および為替円高などにより売上高が減少しました。今後は、平成20年11月に欧米で販売を開始したワイドフォーマットインクジェットシステム「Acuity advance」の販売地域を順次拡大していくなど、成長分野であるデジタルプリンティング分野における拡販をより一層強化してまいります。

フラットパネルディスプレイ材料事業は、第2四半期までは「フジタック」「WV フィルム」の販売が順調に推移しましたが、9月以降のパネルメーカーの急激な生産調整の影響を受け、売上高が大幅に減少しました。このフラットパネルディスプレイ市場は、短期的な市場環境は厳しいものの、中長期的には成長市場であり、今後も引き続き効率化を推進するとともに、高性能フィルムなどの新製品の投入により、拡販を図ってまいります。

記録メディア事業は、主力のデータメディアの最大市場である米国の経済状況悪化と為替円高などの影響を受け、売上高が減少しました。

情報・産業機材事業は、光学デバイス分野で、第2四半期まではカメラ付き携帯電話の高画素化、高付加価値化が進む中、小型・軽量・高画質でオートフォーカス化・ズーム化に対応したカメラ付き携帯電話用レンズユニットが市場で高く評価され、販売が伸長しましたが、第3四半期に入り受注の減少などの影響を受け、売上高が減少しました。

【ドキュメントソリューション部門】

ドキュメントソリューション部門の連結売上高は、第3四半期に入ってから急速な世界市場環境の悪化による欧米向け輸出の減速、米ドルの変動、アジア・オセアニア通貨の急落による為替影響の拡大などにより、8,299億円（前年同期比5.3%減）となりました。

当部門の営業利益は、景気後退と為替円高の影響を受けましたが、原価改善、販売費および一般管理費の削減などを推進したことにより、589億円（前年同期比2.9%減）となりました。

オフィスプロダクト事業は、国内においては、LED（発光ダイオード）プリントヘッド搭載のフルカラーデジタル複合機「ApeosPort-III C3300/C2200」「DocuCentre-III C3300/C2200」や高速カラースキャン機能を搭載した低価格のカラーデジタル複合機「DocuCentre C2101/C1101」の販売が好調に推移したことにより、カラー機の販売台数は増加しました。一方、モノクロ機は需要減少の影響を受け販売が減少したため、販売台数全体では前年並みとなりました。アジア・中国地域においては、急速な景気悪化と為替変動の影響により、第3四半期に入り販売が減少しましたが、米ゼロックス社向け輸出においては、上期における資源国及び新興国での需要増や米ゼロックス社の販売チャネル買収効果などにより、カラー機・モノクロ機とも出荷台数が大きく増加しました。

オフィスプリンター事業は、国内においては、需要減少により出荷台数が減少しました。一方、海外向けは、カラー機の出荷台数が大幅に増加しました。

プロダクションサービス事業は、国内においては、モノクロ・オンデマンドパブリッシングシステム「4112 / 4127 Light Publisher」、グラフィックアーツ市場向けカラー複合機「DocuColor 1257 GA」の販売が好調に推移したことに加え、ライトプロダクションカラー市場向け新商品「700 Digital Color Press」および「DocuColor 5151 P」の好調な立ち上がりにより、販売台数が増加しました。アジア・中国地域においては販売が減少しましたが、米ゼロックス向け輸出においては、カラーエントリーモデルの「DocuColor 5000 Digital Press」や「700 Digital Color Press」の好調な出荷により出荷台数が大幅に増加しました。

グローバルサービス事業は、お客様の業務プロセスの改善に向けたコンサルティングやドキュメント管理業務全般の運用等を行うドキュメントアウトソーシングビジネスが国内外ともに引き続き伸長しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び株主資本の状況)

円高の進展に伴い円換算での評価額が減少したことなどにより、当四半期末の資産は、第2四半期末(平成20年9月30日)に比べ2,348億円減の2兆9,435億円(前第2四半期末比7.4%減)となりました。負債は、736億円減の1兆226億円(前第2四半期末比6.7%減)となりました。株主資本は、1,519億円減の1兆7,986億円(前第2四半期末比7.8%減)となりました。この結果、流動比率は、4.2ポイント増の235.2%、負債比率は0.7ポイント増の56.9%、株主資本比率は0.3ポイント減の61.1%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ685億円減少し、1,197億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入による1,118億円などにより、998億円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得や長期債務の減少などにより、889億円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物四半期末残高は、2,399億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期第4四半期の事業環境を見通すのは困難な状況が継続しています。当社は、緊急対策として全グループをあげて、原価低減、販管費の削減、設備投資の抑制、在庫圧縮などを進めてまいりましたが、経営環境悪化による影響が拡大することが見込まれることから、平成21年3月期の通期業績見通しを修正いたしました。

平成21年3月期業績は、連結売上高は2兆4,300億円(前期比14.6%減)、営業利益は300億円(前期比85.5%減)、税金等調整前当期純利益は、10億円(前期比99.5%減)、当期純利益は100億円(前期比90.4%減)を予定しております。

直面する厳しい事業環境を乗り切るため、全事業にわたり採算改善策を推進しております。フラットパネルディスプレイ材料事業については、減産体制を強化して、在庫水準の適正化を進め、来年度から見込まれる実需の回復局面に備えていきます。デジタルカメラ事業については、現在推進しているコスト改善プランを加速させるとともに、新開発の「Super CCD ハニカム EXR」などの独自技術を活かした差別化商品を、製品価値訴求が可能なマーケットを中心に拡販し、大幅な事業損益の改善を図ります。

さらに、世界規模での経済構造急変に対応するため、中長期的対策として製造費、販管費など経費の削減、部材コストの低減、技術開発力および販売力の強化を推進いたします。加えて構造改革を早急に実施すべく検討を進めており、取組み内容が確定次第公表いたします。かつて経験したことのない危機を迎えている今こそ、企業体質の抜本的な見直しを行い、逆境の中でもしっかりと利益を出せる企業体質への変革を図ってまいります。

なお、第4四半期の対米ドル円為替レートは90円(前年同期比16円高)、対ユーロ円為替レートを115円(前年同期比44円高)で想定しております。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	税金等調整前 当期純利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年8月28日発表)	2,850,000	160,000	163,000	80,000
今回修正予想(B)	2,430,000	30,000	1,000	10,000
増減額(B-A)	△420,000	△130,000	△162,000	△70,000
増減率(%)	△14.7	△81.3	△99.4	△87.5
(ご参考) 前期実績	2,846,828	207,342	199,342	104,431
増減率(%)	△14.6	△85.5	△99.5	△90.4

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

平成18年9月に、米国財務会計基準審議会は、財務会計基準書第157号「公正価値の測定」を発行しました。当社では、平成20年4月1日より財務会計基準書第157号を適用しております。財務会計基準書第157号が当社の経営成績、及び財政状態に与える重要な影響はありません。

平成19年2月に、米国財務会計基準審議会は、財務会計基準書第159号「金融資産及び金融負債に関する公正価値の選択－財務会計基準書第115号の改訂を含む」を発行しました。当社では、平成20年4月1日より財務会計基準書第159号を適用しております。当社は第3四半期累計期間において、公正価値オプションを選択していませんので、財務会計基準書第159号が当社の経営成績、及び財政状態に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科目	期別		増減 (△は減少)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成20年3月31日現在
	当第3四半期 連結会計期間末 平成20年12月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 平成20年9月30日現在			
[資産の部]	%				%
流動資産					
現金及び現金同等物	239,926	318,789	△ 78,863		330,926
有価証券	23,727	18,784	4,943		14,936
受取債権					
営業債権及びリース債権	494,245	553,710	△ 59,465		584,349
関連会社等に対する債権	22,776	26,160	△ 3,384		28,461
貸倒引当金	△ 15,316	△ 16,671	1,355		△ 15,950
	501,705	563,199	△ 61,494		596,860
棚卸資産	416,453	428,849	△ 12,396		416,827
前払費用及びその他の流動資産	189,443	155,826	33,617		152,403
流動資産 合計	46.6 1,371,254	46.7 1,485,447	△ 114,193		46.3 1,511,952
投資及び長期債権					
関連会社等に対する投資及び貸付金	48,712	51,930	△ 3,218		50,737
投資有価証券	152,756	206,841	△ 54,085		234,684
長期リース債権及びその他の長期債権	106,341	126,698	△ 20,357		133,543
貸倒引当金	△ 3,633	△ 4,052	419		△ 4,109
投資及び長期債権 合計	10.3 304,176	12.0 381,417	△ 77,241		12.7 414,855
有形固定資産					
土地	96,878	98,774	△ 1,896		101,492
建物及び構築物	661,588	675,896	△ 14,308		673,175
機械装置及びその他の有形固定資産	1,658,540	1,717,649	△ 59,109		1,709,104
建設仮勘定	53,155	43,772	9,383		57,139
	2,470,161	2,536,091	△ 65,930		2,540,910
減価償却累計額	△ 1,756,097	△ 1,787,062	30,965		△ 1,764,543
有形固定資産 合計	24.3 714,064	23.6 749,029	△ 34,965		23.8 776,367
その他の資産					
営業権	326,089	329,143	△ 3,054		326,777
その他の無形固定資産	78,574	83,887	△ 5,313		91,689
その他	149,307	149,474	△ 167		144,744
その他の資産 合計	18.8 553,970	17.7 562,504	△ 8,534		17.2 563,210
資産合計	100.0 2,943,464	100.0 3,178,397	△ 234,933		100.0 3,266,384

単位 百万円

科目	期別	当第3四半期 連結会計期間末 平成20年12月31日現在		当第2四半期 連結会計期間末 平成20年9月30日現在		増減 (△は減少)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成20年3月31日現在
[負債の部]							
流動負債							
社債及び短期借入金		78,633		70,409		8,224	113,797
支払債務							
営業債務		233,611		259,876		△ 26,265	278,950
設備関係債務		36,846		34,771		2,075	58,654
関連会社等に対する債務		4,678		4,531		147	5,210
		275,135		299,178		△ 24,043	342,814
未払法人税等		16,026		28,995		△ 12,969	41,636
未払費用		150,255		178,539		△ 28,284	189,741
その他の流動負債		63,058		65,822		△ 2,764	66,643
流動負債合計		19.8 583,107		20.2 642,943		△ 59,836	23.1 754,631
固定負債							
社債及び長期借入金		254,839		255,533		△ 694	256,213
退職給付引当金		96,432		100,992		△ 4,560	111,942
預り保証金及びその他の固定負債		88,180		96,800		△ 8,620	92,253
固定負債合計		14.9 439,451		14.3 453,325		△ 13,874	14.1 460,408
少数株主持分		4.2 122,271		4.1 131,606		△ 9,335	3.9 128,992
[資本の部]							
資本金		40,363		40,363		-	40,363
普通株式							
発行可能株式総数	800,000,000 株						
発行済株式数	514,625,728 株						
資本剰余金		69,810		69,709		101	69,329
利益剰余金		1,944,057		1,959,983		△ 15,926	1,923,432
その他の包括利益(△損失)累積額		△ 172,995		△ 71,904		△ 101,091	△ 63,171
自己株式		△ 82,600		△ 47,628		△ 34,972	△ 47,600
資本合計		61.1 1,798,635		61.4 1,950,523		△ 151,888	58.9 1,922,353
負債・少数株主持分及び資本合計		100.0 2,943,464		100.0 3,178,397		△ 234,933	100.0 3,266,384

(注) その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	平成20年12月31日現在	平成20年9月30日現在	増減 (△は減少)	平成20年3月31日現在
有価証券未実現損益	△ 3,944	10,041	△ 13,985	18,172
為替換算調整額	△ 107,860	△ 20,242	△ 87,618	△ 17,599
年金負債調整額	△ 61,245	△ 61,644	399	△ 63,638
デリバティブ未実現損益	54	△ 59	113	△ 106

(2) 四半期連結損益計算書 (累計)

単位 百万円

科目	期別		前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)		前連結会計年度	
	自 至	平成19年 4月1日 至 平成19年12月31日	自 至	平成19年 4月1日 至 平成19年12月31日	自 至	平成20年 4月1日 至 平成20年12月31日	増減額	増減率	自 至	平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
売上高		%		%				%		%
売上高		1,838,904		1,614,331	△ 224,573	△ 12.2				2,450,256
レンタル収入		298,509		289,830	△ 8,679	△ 2.9				396,572
	100.0	2,137,413	100.0	1,904,161	△ 233,252	△ 10.9			100.0	2,846,828
売上原価										
売上原価		1,140,678		1,039,828	△ 100,850	△ 8.8				1,532,596
レンタル原価		121,171		121,149	△ 22	△ 0.0				160,162
	59.0	1,261,849	61.0	1,160,977	△ 100,872	△ 8.0			59.4	1,692,758
売上総利益	41.0	875,564	39.0	743,184	△ 132,380	△ 15.1			40.6	1,154,070
営業費用										
販売費及び一般管理費	26.4	563,023	27.1	516,490	△ 46,533	△ 8.3			26.7	759,139
研究開発費	6.3	134,548	7.6	144,156	9,608	7.1			6.6	187,589
	32.7	697,571	34.7	660,646	△ 36,925	△ 5.3			33.3	946,728
営業利益	8.3	177,993	4.3	82,538	△ 95,455	△ 53.6			7.3	207,342
営業外収益及び費用 (△)										
受取利息及び配当金		10,788		8,845	△ 1,943					13,462
支払利息		△ 5,623		△ 5,667	△ 44					△ 7,380
為替差損益・純額		△ 1,002		△ 24,186	△ 23,184					△ 14,640
その他損益・純額		3,315		△ 5,185	△ 8,500					558
	0.4	7,478	△ 1.3	△ 26,193	△ 33,671	△ 450.3			△ 0.3	△ 8,000
税金等調整前四半期純利益	8.7	185,471	3.0	56,345	△ 129,126	△ 69.6			7.0	199,342
法人税等	3.4	71,797	1.3	24,511	△ 47,286	△ 65.9			2.9	82,143
少数株主損益及び持分法による投資損益前利益	5.3	113,674	1.7	31,834	△ 81,840	△ 72.0			4.1	117,199
少数株主損益	△ 0.5	△ 11,160	△ 0.4	△ 6,541	4,619	41.4			△ 0.5	△ 15,474
持分法による投資損益	0.1	1,355	0.2	4,161	2,806	207.1			0.1	2,706
四半期純利益	4.9	103,869	1.5	29,454	△ 74,415	△ 71.6			3.7	104,431

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
		自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日	自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		103,869	29,454	△ 74,415
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		166,521	159,172	△ 7,349
(2) 少数株主損益		11,160	6,541	△ 4,619
(3) 持分法による投資損益 (受取配当金控除後)		709	△ 2,680	△ 3,389
(4) 資産及び負債の増減				
・受取債権の増加 (△) ・減少		△ 22,418	47,067	69,485
・棚卸資産の増加		△ 38,485	△ 27,667	10,818
・営業債務の増加・減少 (△)		12,350	△ 26,153	△ 38,503
・未払法人税等及びその他負債の減少		△ 43,023	△ 77,613	△ 34,590
(5) その他		△ 2,475	11,585	14,060
小計		84,339	90,252	5,913
営業活動によるキャッシュ・フロー		188,208	119,706	△ 68,502
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 114,902	△ 111,859	3,043
2. ソフトウェアの購入		△ 14,709	△ 15,400	△ 691
3. 有価証券・投資有価証券等の売却・満期償還		45,481	40,742	△ 4,739
4. 有価証券・投資有価証券等の購入		△ 45,343	△ 9,545	35,798
5. 関係会社投融資及びその他貸付金の増加 (△) ・減少		△ 35,041	7,252	42,293
6. 事業買収に伴う支出 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		—	△ 4,139	△ 4,139
7. その他		△ 14,493	△ 6,817	7,676
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 179,007	△ 99,766	79,241
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		2,602	7,236	4,634
2. 長期債務の返済額		△ 9,867	△ 39,426	△ 29,559
3. 短期債務の増加 (純額)		43,755	2,140	△ 41,615
4. 親会社による配当金支払額		△ 15,335	△ 17,655	△ 2,320
5. 少数株主への配当金支払額		△ 4,658	△ 6,232	△ 1,574
6. 自己株式の取得 (純額)		△ 34,209	△ 35,002	△ 793
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 17,712	△ 88,939	△ 71,227
IV 為替変動による現金及び現金同等物への影響		600	△ 22,001	△ 22,601
V 現金及び現金同等物純減少		△ 7,911	△ 91,000	△ 83,089
VI 現金及び現金同等物期首残高		384,719	330,926	△ 53,793
VII 現金及び現金同等物四半期末残高		376,808	239,926	△ 136,882

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 四半期連結売上高明細表

①製品別連結売上高

単位 百万円

	前第3四半期連結累計期間 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
イメージング ソリューション	20.8%	443,747	17.7%	336,344	△ 107,403	△ 24.2
インフォメーション ソリューション	38.2%	816,986	38.7%	737,903	△ 79,083	△ 9.7
ドキュメント ソリューション	41.0%	876,680	43.6%	829,914	△ 46,766	△ 5.3
連結 合計	100.0%	2,137,413	100.0%	1,904,161	△ 233,252	△ 10.9

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

- イメージング ソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、
写真プリント用のカラーペーパー・薬品・サービス等
- インフォメーション ソリューション : デジタルシステム・ライフサイエンス機材、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、
記録メディア、光学デバイス、電子材料、インクジェット用材料等
- ドキュメント ソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、
用紙、消耗品、オフィスサービス等

②国内・海外別連結売上高

単位 百万円

	前第3四半期連結累計期間 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
国内	43.2%	922,835	44.9%	854,401	△ 68,434	△ 7.4
海外						
米州	20.3%	434,095	18.8%	359,391	△ 74,704	△ 17.2
欧州	16.1%	344,178	15.0%	285,280	△ 58,898	△ 17.1
アジア及びその他	20.4%	436,305	21.3%	405,089	△ 31,216	△ 7.2
計	56.8%	1,214,578	55.1%	1,049,760	△ 164,818	△ 13.6
連結 合計	100.0%	2,137,413	100.0%	1,904,161	△ 233,252	△ 10.9

(6) セグメント情報

①事業別セグメント情報

単位 百万円

	前第3四半期連結累計期間 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
イメージング ソリューション：						
外部顧客に対するもの	20.8%	443,747	17.7%	336,344	△ 107,403	△ 24.2
セグメント間取引		697		561	△ 136	-
計		444,444		336,905	△ 107,539	△ 24.2
インフォメーション ソリューション：						
外部顧客に対するもの	38.2%	816,986	38.7%	737,903	△ 79,083	△ 9.7
セグメント間取引		1,837		1,271	△ 566	-
計		818,823		739,174	△ 79,649	△ 9.7
ドキュメント ソリューション：						
外部顧客に対するもの	41.0%	876,680	43.6%	829,914	△ 46,766	△ 5.3
セグメント間取引		6,928		6,857	△ 71	-
計		883,608		836,771	△ 46,837	△ 5.3
セグメント間取引消去		△ 9,462		△ 8,689	773	-
連結 合計	100.0%	2,137,413	100.0%	1,904,161	△ 233,252	△ 10.9

単位 百万円

	前第3四半期連結累計期間 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
営業利益・損失 (△)：						%
イメージング ソリューション	3.6%	15,959	△ 2.4%	△ 7,949	△ 23,908	-
インフォメーション ソリューション	12.8%	104,510	4.7%	34,407	△ 70,103	△ 67.1
ドキュメント ソリューション	6.9%	60,698	7.0%	58,933	△ 1,765	△ 2.9
計		181,167		85,391	△ 95,776	△ 52.9
全社費用及びセグメント間取引消去		△ 3,174		△ 2,853	321	-
連結 合計	8.3%	177,993	4.3%	82,538	△ 95,455	△ 53.6

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

イメージング ソリューション

: カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、
写真プリント用のカラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーション ソリューション

: メカシステム・ライフサイエンス機材、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、
記録メディア、光学デバイス、電子材料、インクジェット用材料等

ドキュメント ソリューション

: オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、
用紙、消耗品、オフィスサービス等

②所在地別セグメント情報

単位 百万円

	前第3四半期連結累計期間 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
日本：						
外部顧客に対するもの	56.7%	1,211,133	58.3%	1,110,953	△ 100,180	△ 8.3
セグメント間取引		407,986		354,294	△ 53,692	-
計		1,619,119		1,465,247	△ 153,872	△ 9.5
米州：						
外部顧客に対するもの	18.3%	391,659	17.0%	322,493	△ 69,166	△ 17.7
セグメント間取引		14,601		14,454	△ 147	-
計		406,260		336,947	△ 69,313	△ 17.1
欧州：						
外部顧客に対するもの	12.5%	267,164	11.9%	226,324	△ 40,840	△ 15.3
セグメント間取引		9,043		9,061	18	-
計		276,207		235,385	△ 40,822	△ 14.8
アジア及びその他：						
外部顧客に対するもの	12.5%	267,457	12.8%	244,391	△ 23,066	△ 8.6
セグメント間取引		280,745		257,049	△ 23,696	-
計		548,202		501,440	△ 46,762	△ 8.5
セグメント間取引消去		△ 712,375		△ 634,858	77,517	-
連結 合計	100.0%	2,137,413	100.0%	1,904,161	△ 233,252	△ 10.9

単位 百万円

	前第3四半期連結累計期間 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
営業利益・損失 (△)：						%
日本	7.7%	125,280	3.6%	52,308	△ 72,972	△ 58.2
米州	0.9%	3,766	0.1%	328	△ 3,438	△ 91.3
欧州	3.2%	8,859	4.0%	9,491	632	7.1
アジア及びその他	7.8%	42,778	4.0%	20,032	△ 22,746	△ 53.2
セグメント間取引消去	-	△ 2,690	-	379	3,069	-
連結 合計	8.3%	177,993	4.3%	82,538	△ 95,455	△ 53.6

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

<参考資料>

第3四半期連結損益計算書（3ヶ月）

単位 百万円

科目	期別		前第3四半期 連結会計期間 平成19年10月1日 自 至 平成19年12月31日		当第3四半期 連結会計期間 平成20年10月1日 自 至 平成20年12月31日		増減 (△は減少)	
							増減額	増減率
			%		%			%
売上高								
売上高			627,046		473,171		△ 153,875	△ 24.5
レンタル収入			102,293		92,504		△ 9,789	△ 9.6
			100.0	729,339	100.0	565,675	△ 163,664	△ 22.4
売上原価								
売上原価			388,053		316,148		△ 71,905	△ 18.5
レンタル原価			39,296		39,434		138	0.4
			58.6	427,349	62.9	355,582	△ 71,767	△ 16.8
売上総利益			41.4	301,990	37.1	210,093	△ 91,897	△ 30.4
営業費用								
販売費及び一般管理費			25.9	188,884	28.3	160,379	△ 28,505	△ 15.1
研究開発費			6.0	43,775	8.6	48,449	4,674	10.7
			31.9	232,659	36.9	208,828	△ 23,831	△ 10.2
営業利益			9.5	69,331	0.2	1,265	△ 68,066	△ 98.2
営業外収益及び費用（△）								
受取利息及び配当金			3,642		2,488		△ 1,154	
支払利息			△ 1,955		△ 1,835		120	
為替差損益・純額			△ 888		△ 24,546		△ 23,658	
その他損益・純額			574		△ 2,764		△ 3,338	
			0.2	1,373	△ 4.7	△ 26,657	△ 28,030	-
税金等調整前四半期純利益 （△損失）			9.7	70,704	△ 4.5	△ 25,392	△ 96,096	△ 135.9
法人税等			3.9	28,558	△ 1.6	△ 8,848	△ 37,406	△ 131.0
少数株主損益及び持分法に よる投資損益前利益（△損失）			5.8	42,146	△ 2.9	△ 16,544	△ 58,690	△ 139.3
少数株主損益			△ 0.6	△ 4,116	△ 0.1	△ 690	3,426	83.2
持分法による投資損益			0.2	1,192	0.2	1,306	114	9.6
四半期純利益（△損失）			5.4	39,222	△ 2.8	△ 15,928	△ 55,150	△ 140.6

<参考資料>

連結売上高明細表（3ヶ月）

①製品別連結売上高

単位 百万円

	前第3四半期 連結会計期間 自 平成19年10月 1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期 連結会計期間 自 平成20年10月 1日 至 平成20年12月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
イメージング ソリューション	20.8%	151,978	18.6%	105,179	△ 46,799	△ 30.8
インフォメーション ソリューション	37.7%	274,393	34.7%	196,429	△ 77,964	△ 28.4
ドキュメント ソリューション	41.5%	302,968	46.7%	264,067	△ 38,901	△ 12.8
連結 合計	100.0%	729,339	100.0%	565,675	△ 163,664	△ 22.4

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

- イメージング ソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、写真プリント用のカラーペーパー・薬品・サービス等
- インフォメーション ソリューション : デジタルシステム・ライブラリシステム機材、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、光学デバイス、電子材料、インクジェット用材料等
- ドキュメント ソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、用紙、消耗品、オフィスサービス等

②国内・海外別連結売上高

単位 百万円

	前第3四半期 連結会計期間 自 平成19年10月 1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期 連結会計期間 自 平成20年10月 1日 至 平成20年12月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
国内	42.2%	307,592	46.7%	263,979	△ 43,613	△ 14.2
海外						
米州	20.6%	149,929	19.7%	111,212	△ 38,717	△ 25.8
欧州	16.5%	120,236	14.7%	83,487	△ 36,749	△ 30.6
アジア及びその他	20.7%	151,582	18.9%	106,997	△ 44,585	△ 29.4
計	57.8%	421,747	53.3%	301,696	△ 120,051	△ 28.5
連結 合計	100.0%	729,339	100.0%	565,675	△ 163,664	△ 22.4